

## 瑞牆山・金峰山

【山行日】 2016年 10月 15日-16

【メンバー】 CL島田実 SL清水敬、前沢、横田、大島

【交通、費用】 車・5500円/人

【日程等】 天気 15日(快晴) 16日(快晴)

15日 小山市役所 5:00＝東北道・圏央道・中央道＝須玉IC＝瑞牆山荘駐車場 8:40－  
富士見平小屋 9:30－瑞牆山 12:00(昼食)13:00－富士見平小屋 15:00(泊)

16日 富士見平小屋6:20－大日小屋7:30－大日岩 8:10－金峰山 10:10(昼食)11:00－  
大日岩 12:30－大日小屋 13:00－富士見平小屋 14:00(小休憩)14:20－  
瑞牆山荘駐車場 15:00＝増富温泉 16:20＝須玉IC＝中央(渋滞)・圏央・東北道＝  
小山市役所 21:00

瑞牆山・・穏やかな山道から急登な登りそして岩、岩、疲れた～でも山頂につけば素晴らしい景色に満足  
金峰山・・樹林の木々から見える木漏れ日、稜線から見た大きな富士山(頑張れた)頂上のでっかい岩  
2日間絶好の登山日和、快晴の青空・景色・など最高でした。 H・M

常緑樹の中にホンノリ色好きはじめた木々が点在して、木々の間からは、白い花崗岩の岩肌と群青色の空に  
二筋の真っ白い飛行機雲。

今シーズン最後の泊まり山行で最高の天気にも恵まれました。バンザイです。 K・S

薄暗い、わずか半畳ばかりの室内の中央にポツンと鎮座している腰掛便座。  
他には何もない。 あっても良さそうな物まで排除して、ただただ機能だけを追求した空間。  
あまりにもシンプルすぎて却って感動さえ覚えそうだった、たった1個しかない山小屋のトイレ。  
瑞牆山はパワースポットだったらいい。 帰りに寄った温泉に貼ってあったポスターに書いてあった。ど  
うりで、山頂には人があふれ返っていたはずだ。  
それからピストンで山小屋に戻り、翌日は金峰山。 空に向かう道は楽しかった。 空は青く、高く、まぶ  
しく、ついでに山の若者たちもまぶしかった。頂上を満喫して、登った道に戻り、下山。  
そしてまだまだ道は続く…。暗闇の中をどこまでも続く赤いテールランプの列。登っても、下っても、カ  
ーブを曲がっても、ずっと先まで途切れることのないレッドリバー。忍耐強く流れに身、もとい、車を任せ  
ているうちに八王子JCTの分岐でようやく行列を脱出し、それからは快調に走る。  
こうして、お天気にも恵まれた二日間の山行は無事に終わったのだった。 H・O

素晴らしい秋晴れのもと瑞牆山に向かう。富士見平小屋に荷物をデポし、巨岩を見ながら急斜面を登ると山  
頂は大展望が広がり素晴らしい。宿泊の山小屋は鹿肉のソウセイジの夕食、ランプの光のみの宿で私にとっ  
て初体験でした。なお、早朝に見た大きな富士山は茜色に染まって美しい姿でとても印象的でした。金峰山  
の山頂は大展望が広がり素晴らしく、楽しい山行で、仲間へ感謝です。 S・M

最高の天気にも恵まれた山行でした。金峰山には、大弛峠ルート・金峰山荘ルートでは登った事があるが、  
富士見平小屋からの金峰山の登山は初めてでした。母方のおじさんが、昭和10年代に登った地図が残され  
ていて、歩いてみたい登山路でした。おじさんは、戦争で無念の死を遂げ、2度と登山路を歩く事が出来ま  
せんでした。どのような事を考えて登っていたのだろうか。もし、生きていてくれたら、おふくろはどれほ  
ど心強かっただろうか。「実それはだめだよ」と数知れず叱られただろうな。現在のように整備されていない  
登山路を茶色の大きなリュックを背居ながら楽しそうに歩いているおじさんの姿を想像しながら、登らせて  
いただきました。 M・S



